



雪はどうして沖縄（暖かい地方）には降らないの

上空の雲に雪のつぶはできている

沖縄のような暖かい地方でも、上空の気温は低くなっています。雪を降らせる雲は、小さな氷のつぶが、集まってできています。

上空の気温は低いので、空気中の水蒸気は水のつぶにならないで、氷のつぶにくっついて、氷のつぶ（氷の結晶）がだんだん大きくなり、雪のつぶができます。

沖縄の上空の雲にも、雪のつぶはできます。

地上付近の気温が高いと雪にならない

沖縄の上空の気温は低くても、地上は暖かです。上空でできた雪のつぶが、降ってくるとちゅうで雨になってしまいます。

雪雲から、雪として降ってくるときは、地表付近の気温が、0℃以下になっているときです。なんとか、4℃ぐらいまでなら、雪になることがあります。ですから、雪は、気温の低い冬に降ります。

ところが、沖縄などの暖かい地方では、真冬でも、気温が0℃以下になることは、ほとんどありません。ですから、上空で、雪を降らせる雲ができていても、雪が降ってくることはありません。

（監修・村山 貢司）

